

**科目名：**都市生活行動学（2012）

**担当：**羽藤英二（出席メールは subject : bin2012 学生番号で、<hato@bin.t.u-tokyo.ac.jp>迄）

**概要：**この講義では、人間の生活行動の重なりの中で都市空間の意味を改めて捉え直し、街路や広場といった都市の公共空間を計画、デザインするための基礎理論とその応用について学びます。具体的には、人間のための公共空間と都市の流動を考える上で、意思決定理論とネットワーク解析理論をその中核となる理論と位置づけ、これを援用したモビリティデザインやツーリズムデザインなどの事例研究を紹介していきます。1) ネットワーク分析、2) Choice Architecture などの意思決定理論、3) ゲーム理論を用いながら、羽藤が関わってきた街路や駅、広場、学校といった公共空間の計画・設計とツーリズムデザインや交通戦略、広域地方計画の現場の事例研究を通じて、理論が現場でどのように展開されているかを順番に理解していきます。

**評価方法：**講義最終回前に1度試験を行い、採点結果に基づいて成績評価を行います。

テストは返却し、内容の解説を行います。

**出席：**朝一限ですし出席は強制しません。但し課題提出者はこれをプラス点として評価します。

※課題講評は返します、出席感想などについても返信します。

### 内容：

#01 10/03 ガイダンス

▲課題 a-1：対象敷地における公共空間改変の事業をなんか考えなさい（10/09ㄨ切、600文字程度）

#02 10/10 都市と流動の原理（都市の形式、ルソーとジェイコブス、グランパリ）

#03 10/17 ネットワークとは何か？（ネットワーク分析とイメージビルディング、遅い交通）

#04 10/31 都市とネットワーク（スペインの多孔質戦略と媒介中心性、）

▲課題 a-2：提案事業と連鎖するなんかおもしろいプログラム、制度を考えなさい（11/06ㄨ切、ppt1枚）

#05 11/07 ツーリズムデザインにおけるロールとカーネル(四万十町の空間設計、牧野富太郎の道を歩く)

#06 11/14 Choice Architecture（Nudges とインセンティブ、プライシングの数理）

#07 11/21 配分の理論（ブラエスのパラドクス、SF訴訟、モビリティクラウド）

▲課題 b-1：提案事業の効果や必要性を評価する方法をなんか考えなさい（11/27ㄨ切、ppt3枚以内）

#08 11/28 選択と流動の意思決定（意思決定理論、ドイツとフランスの交通空間のデザイン）

#09 12/05 GEV モデルの導出（数値計算例）

#10 12/12 アクティビティモデル（空間データマイニングとライフスタイルデザイン）

▲課題 b-2：最終的な空間とその戦略プログラムを具体的に提示しなさい（12/18ㄨ切、ppt3枚以内）

#11 12/19 共助の理論（ゲーム理論とバストリガー戦略）

#12 01/09 中心市街地活性化と交通戦略（神戸元町鯉川筋、松山花園町、周南駅空間コンバージョン）

#13 01/16 公共空間のデザイン（首都圏鉄道整備計画、陸前高田学校再生のデザイン）

#14 01/23 テスト

#15 01/30 外部講師の講義と議論

### 参考文献：

- 1) クリストファアレグザンダー、パターンランゲージ、1968
- 2) 陣内秀信、東京の空間人類学、1992
- 3) 都市計画学会、雑誌都市計画：都市計画 2050 年論、2011
- 4) ケビンリンチ、都市のイメージ、1968
- 5) 金光淳著、社会ネットワーク分析の基礎～社会的関係資本論にむけて～、2003
- 6) 安田雪、ネットワーク分析—何が行為を決定するか、1997
- 7) 山下晋司、観光人類学、1997
- 8) 旅行者行動の心理学、佐々木土師二、2005
- 9) 阿部大輔、バルセロナ旧市街の再生戦略、2009
- 10) 磯崎新、空間へ、1972
- 11) 都市デザイン研究体、日本の都市空間、1968
- 12) 内藤廣、著者解題、2011
- 13) 実践 行動経済学 健康、富、幸福への聡明な選択、2010.
- 14) 奥野正寛：ミクロ経済学、東京大学出版会、2008.
- 15) 鈴木光男、新ゲーム理論、1994.
- 16) Daganzo, C., Multinomial Probit: The Theory and Its Application to Demand Forecasting, Academic Press, 1979.

1 7) Ben-Akiva M., Lerman S., Discrete choice analysis, The MIT Press, Cambridge Massachusetts, 1985.

補遺：

1) **講義で想定している主題と専門性について**：本講義では、図-1 のような主題と専門性を想定していません。数理的なアプローチは公共空間の計画やデザインにおいて、一面的な理解をもたらすが、それだけでは不十分であることはいまでもありません。数理は現象のよりよい理解を、デザインは価値の創造を得意としており、互いが循環することで、生活に根差した空間計画への道筋が示されると考えています。

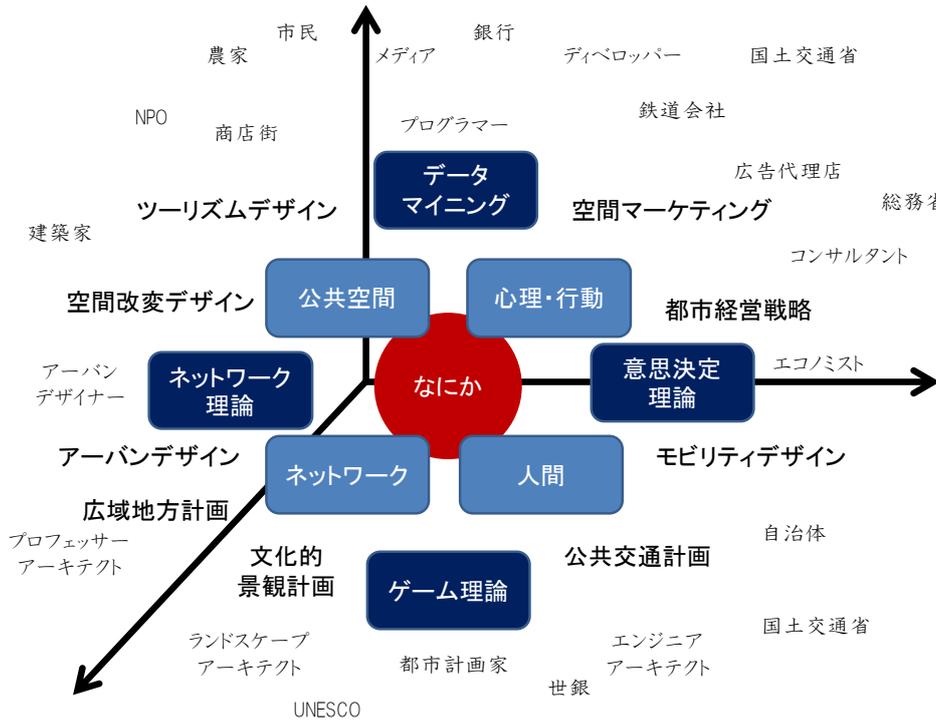


図-1 この講義で想定している主題と専門性

2) **課題について**：この講義では以下の4つの課題を出します。対象都市（敷地）は都市部の代表として東京渋谷エリア（学生番号偶数）と地方部の代表として愛媛県今治市中心市街地エリア（学生番号奇数）とします。

▲課題 a-1：対象都市における公共空間改変の事業を考えなさい（10/09㍻切、600文字程度）

・空間構成の簡単な分析を行った上で、空間構成の文脈を踏まえて、大きな防災広場をつくる、街路を歩行者専用空間にする、小さな路地をつくる、ベンチを置く、水を引く、緑の公園をつくるといった都市の公共空間の改変事業について、大きな事業、中くらいの事業、小さな事業を考え、その事業の内容、意味や効果をできるだけ具体的に説明してください。

▲課題 a-2：提案事業と連鎖するなにかおもしろいプログラムを考えなさい（11/06㍻切、600文字程度）

・課題 a-1 の事業と組み合わせることで効果を発揮する施策を提案すること。景観規制、コミュニティバス路線の設定、ツーリズムデザイン、LRTの導入、都心居住、駅空間のリノベーション、アーティストインレジデンス、船の活用などできるだけ具体的に提案し、その事業効果の拡がりや意味についても考察すること。

▲課題 b-1：提案事業の効果や必要性を評価する方法をなにか考えなさい（11/27㍻切、ppt1枚以内）

・課題 a で提案された事業プログラム（他人のものでもかまいません）について、その効果をどのように評価すべきか、調査方法や評価、市民との共有の方法について提案しなさい。

▲課題 b-2：最終的な空間とその戦略プログラムを具体的に提示しなさい（12/18㍻切、ppt3枚以内）

・最終的な空間計画についてその戦略をいくつかの事業とプログラムを組み合わせる2案作成し、それぞれのシナリオについて考察を加え、最終的な計画を1案提示しなさい。